

淀澤 勝治 (よどざわ かつじ)

研究分野

道徳教育及び道徳授業、幼児教育、学級経営、特別支援教育

キーワード

道徳教育、発達段階、ジレンマ学習、合意形成型道徳学習、道徳資料

担当授業科目

大学院：学校における心の教育の実践研究、道徳教育及び道徳授業の理論と実際、他
学部：道徳教育論、初等生活、兵庫の教育、実地教育、他

自己紹介

小学校教員として普通小学校 10 年、本学附属小学校 10 年の経歴（本学大学院生徒指導コースに内地留学した際に道徳教育について研鑽）を経て、本大学院にやってきました。とりわけ本学附属小学校時代には道徳部主任、研究部副主任として主に道徳教育及び道徳授業の理論と実践について研究を深めてきております。そのため理論だけでなく現場（幼小中学校）とのつながりが深く、県内外の学校園での指導や飛び込み授業（道徳）を重ねるなかで、子ども達にとってより良い教育とは何か模索しています。

また道徳教育（学校教育）の要の時間としての道徳の時間を支える学級経営についての課題意識から、より良い教員をめざすには豊かな感性と豊富な教養が欠くべからざる条件だと考えています。

自分自身の研究スタイルとしては、文献研究だけでなく、現場での授業実践や教職員・管理職とのインタビューやアンケート調査の結果を分析するといった研究を行っています。

ゼミについて

基本的には、P1・P2 共に週 1 回 1 コマ（P1・P2 合同ゼミあり）を予定しています。内容については相談しながら進めていきますが、共に悩み共同研究するといったスタイルをめざしています。他にも困ったことがあったら相談してください。

また、重ねて学部生の指導にも力を入れており、より良い教員を輩出するという目的のために朝ゼミ（毎朝 8:00～9:00 前）を実施しており、一般教養・教職教養・集団討論や模擬授業（場面指導含む）、体育実技指導を行っております。もしもストレートマスターの方で教採を視野に入れている方がいれば、共に指導いたします（ただし、かなり厳しいです）。

なお、現 P2 生は、道徳教育（現職）のプロパーとしての実績を基盤に、「道徳科授業における教師の自己省察の在り方」や「批判的思考を活用した道徳授業の開発」をテーマに成果物作成に取り組んでいます。